

結婚生活に疲れるのは、誰にでもあること。

結婚生活が長くなるにつれて訪れるのが、倦怠期です。昔の「恋人」という新鮮な感覚は失われ、あるのは「生活共同者」という平凡な感覚。

結婚生活をしてしばらく経つと、だんだん情熱的な感情が、だんだん普通感覚になります。

結婚してしばらく経つと、こういう悩みに直面するので

まずそれは普通に起こりえることです。

どんな人間関係でも、一緒にいる時間が長くなると、情熱的な感情が落ち着くのは当然です。

どんな夫婦にもあることなので、驚くことではありません。

大切なことは、ここからです。

情熱的な感情が落ち着くのを乗り越えて疲れてくるようなら、考えものです。

挨拶し合うこともなければ、感謝をし合うこともない。

励まし合うこともなければ、愛し合うこともない。

夫婦として冷めた関係に陥ってしまうと要注意です。

改善を試みることなく放置していると、倦怠感がどんどん悪化していきます。

話すのもつらくなったり、顔を見るのも嫌になると大変です。

最悪の状況になってから改善するのは、非常に苦しい。

だらけたとしても、まだ改善できるチャンスはあります。

「まだ間に合う。再び昔の感覚を取り戻そう」

意気込んで、改善に挑戦することが大切です。

改善しようと思うから、改善されます。



結婚生活に疲れたときの言葉 その1

結婚生活の疲れの改善に取り組む。